

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 1 月 8 日 更新

事務事業名		ふれあい館維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1 自治の健康				所属部	健康福祉部	課長名	大山 由紀美
	施策	2 行政改革の推進				所属課	高齢者支援課	担当者名	木場田 可織
	施策の柱	12 公有財産の管理運営				所属班	介護保険班	(内線)	1163
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 6	事業連番 10432	根拠法令	合志市保健福祉センターふれあい館条例・同施行規則 指定管理協定書・	
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	○平成14年6月 保健福祉センター、子育て支援センター、児童館の複合施設として開館した。以来、合志市社会福祉協議会の活動拠点(事務所)となり、介護保険事業(デイサービス・訪問ヘルパー等)、市委託事業(障害者デイサービス事業、子育て支援事業、西児童館運営事業等)、乳幼児健診・がん検診の会場、ボランティアセンター、市民交流の場として総合的な保健・福祉事業を展開している。 ○平成18年9月 指定管理者(合志市社会福祉協議会)による管理運営を開始(第1期:平成18年9月～平成21年9月)※平成16年地方自治法が改正され管理委託施設は平成18年9月までに指定管理へ移行することとされていた。 ○平成21年10月 第2期(平成21年10月～平成24年3月)指定管理者(合志市社会福祉協議会)による管理運営を開始 ○平成24年4月 第3期(平成24～28年度)指定管理者(合志市社会福祉協議会)による管理運営を開始 ○平成27年11月 外壁改修完了(クラック補修、防水塗装、屋上防水補修等) ○平成29年4月 第4期(平成29～33年度)指定管理者(合志市社会福祉協議会)による管理運営を開始
【業務の流れ】	【管理】○年度協定の締結(各年度の指定管理料額及び支払方法)、○モニタリングの実施(月次業務報告書、年次事業報告書、アンケート結果報告等を受けての管理運営状況確認)、○50万円を超える修繕費負担等の協議、○指定管理料の支払(四半期毎) 【指定】○管理方法・募集方法・指定期間の決定(政策推進本部→議会全協説明) ○指定管理者の募集(募集要項と仕様書の作成・配付、募集説明会、申請書審査) ○選定委員会の開催(選考審査、候補者決定) ○議会への提案 ○指定管理者の指定 ○指定管理基本協定の作成・締結
【主な予算費目】	委託料(指定管理料、空調機更新・非常用自家発電工事設計委託)、負担金(施設修繕費)
【意見や要望】	避難所生活では医療機器等の使用など何らかの特別な配慮が必要な避難行動要支援者の避難が想定されるため、指定管理者から災害時における供給電力の確保が必要であるとの要望があった。また、議員より停電発生時に人命に関わる事態が起きないための非常用電源の確保ができていないのかとの意見が寄せられている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO) ○指定管理者(市社協)に指定管理料を支払い、効率的な管理運営に努めた。また、月次業務報告等により管理運営状況の確認を行い、利用者の重大な事故もなく、設置目的に沿った良好な運営ができた。 ○障がい者や高齢者など利用者の安全確保のためにトイレ床面の張り替え及び手すりの設置、また、緊急時に重大事故に繋がる恐れのある多目的室の排煙窓開閉の不具合に伴う修繕費用を負担し、施設の適正な維持管理に努めた。		31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度内容に加え、空調機更新及び非常用自家発電工事に係る設計委託を実施
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 指定管理料	千円	委託料(空調機更新・非常自家発電設置設計委託料)の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民(利用者)		→ ア 利用者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
不都合なく安全に利用してもらう。		→ ア 施設・サービス等について満足と答えた割合
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
利用者アンケート(施設・サービスに対する満足度)の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。利用者に満足していただきたいと考え95%に設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込	
① 活動指標	アイ	千円	26,500	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	
② 対象指標	アイ	人	52,879	54,982	56,000	53,022	56,000	56,000	56,000	56,000	
③ 成果指標	アイ	%	99.3	100	95	100	95	95	95	95	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円					1,200	96,500		
		その他	千円		27						
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	27,753	29,215	28,864	28,624	33,122	28,025	28,000	28,000
	(A) 事業費計	千円	27,753	29,242	28,864	28,624	34,322	124,525	28,000	28,000	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	2	3	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	300	112	180	322	180	300	180	180
		(B)人件費計	千円	0	443	717	1,269	717	1,195	717	717
トータルコスト(A)+(B)		千円	27,753	29,685	29,581	29,893	35,039	125,720	28,717	28,717	

事務事業名	ふれあい館維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度的事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 指定管理者においては、不満足と指摘されることの無いよう、適切に対応することで達成見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 指定管理者による従業者への接遇教育や日々の施設・設備点検等により、上位の満足度へ引き上げることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない⇒【理由】 ふれあい館には指定管理者（社協事務局）が入居しており、施設管理業務以外の多岐にわたる福祉に関する業務の遂行を考えると、現状での指定管理者制度による管理運営以外に手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の指定管理委託料の設定である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者を導入しており、直営と比べると業務時間においては削減されている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民が利用する公共施設であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の所有する施設であり、福祉行政の拠点として指定管理者制度により管理運営しており、適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

施設の設置目的に沿った運営がなされ、利用者の重大な事故もなく良好な運営状況である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）			(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																										